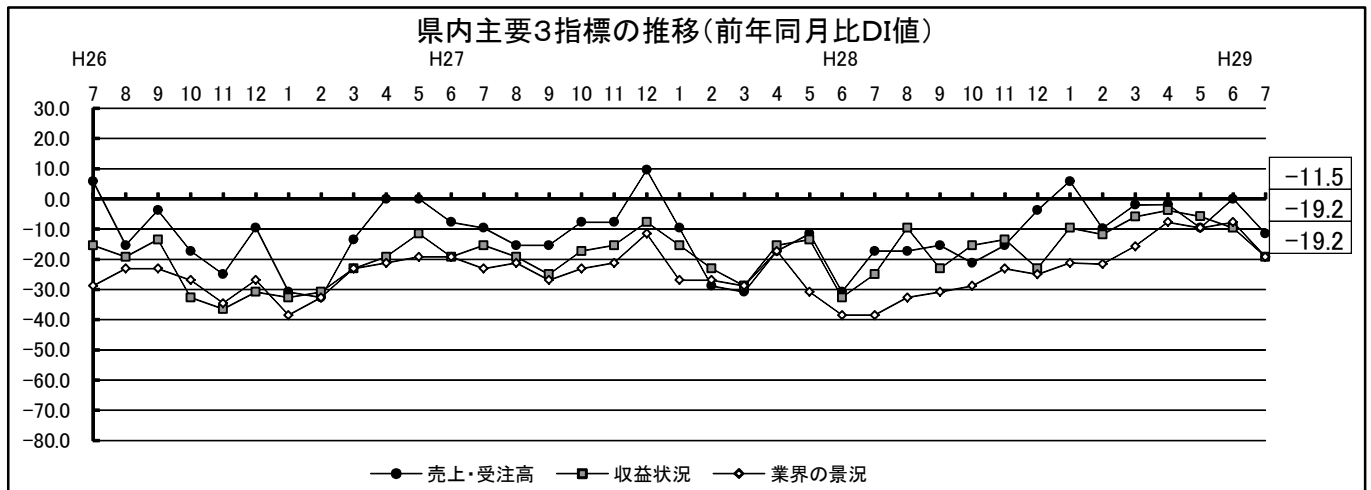


中小企業団体情報連絡員報告結果(平成29年7月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員（中小企業組合（協同組合、商工組合等）の役職員52名に委嘱）による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 7月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「在庫数量」「雇用人員」の2指標が上昇した。
- 主要3指標は、「売上高」が前月より11.5ポイント下降の-11.5ポイント、「収益状況」が9.6ポイント下降の-19.2ポイント、「業界の景況」が11.5ポイント下降の-19.2ポイントであった。
- 前月比で多くの指標の数値がマイナスの値を示している。昨年夏以降、少しずつ回復の兆しが見えた景況感であったが、7月度でまた大きくマイナスの値を示す結果となった。業種別では、食料品製造業、繊維・同製品製造業における景況感の悪化が著しい。



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上・受注高	-11.5	-11.5	-10.0	0.8
収益状況	-19.2	-9.6	-15.6	0.6
業界の景況	-19.2	-11.5	-17.9	0.1

売上・受注高

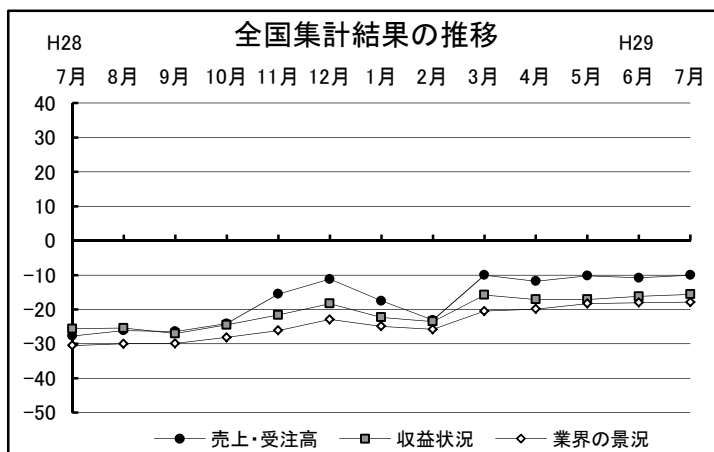
当月の県内売上・受注高DI値は、前月より11.5ポイント下降の-11.5ポイントとなった。全国においては、前月より0.8ポイント上昇の-10.0ポイントとなった。

収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より9.6ポイント下降の-19.2ポイントとなった。全国においては、前月より0.6ポイント上昇の-15.6ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より11.5ポイント下降の-19.2ポイントとなった。全国においては、前月より0.1ポイント上昇の-17.9ポイントとなった。



-概 況-

7月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「在庫」「雇用」が改善し、「売上」「条件」「収益」「資金」「設備」「景況」の6指標が悪化した。主要3指標は、「売上」が前月より11.5ポイント下降の-11.5ポイント、「収益」が9.6ポイント下降の-19.2ポイント、「景況」が前月より11.5ポイント下降の-19.2ポイントであった。未だマイナスの値ではあるが、昨年夏以降、徐々に景況感が回復しているように感じられたものの、7月度調査ではまた下降を示す数値となった。

業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上」は製造業で7業種中1業種が上昇、4業種が下降し、非製造業で6業種中2業種が上昇、1業種が下降した。「収益」は製造業で1業種が上昇、3業種が下降し、非製造業で1業種が上昇、2業種が下降した。「景況」は製造業で1業種が上昇、3業種が下降し、非製造業では3業種が下降した。

全国的に豪雨被害による需給不調や物流の混乱に加え、輸入価格の高騰、記録的な長雨等、国内外の諸要因が経営全般におけるコスト上昇に一層の拍車を掛けているようだ。本県においても、業界の景況からみてとれるように、難しい経営を強いられている。外部的要因に左右されるところが大きい昨今の景気動向ではあるが、それらの要因を抑え込むだけの景況感を回復させ、お金と商品(サービス)の回転を上げることのできるような工夫が望まれる。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	×	△	△	△	×	△	×	△	×
繊維・同製品	×	△	△	△	×	△	×	△	△
木材・木製品	△	○	△	△	△	△	△	△	△
印刷	△	△	△	△	△	△	△	△	△
窯業・土石	△	△	○	△	△	△	○	△	△
鉄鋼・金属	×	△	△	△	△	△	△	△	△
一般機器	△	△	△	△	×	△	×	△	×
卸売業	△	△	△	△	△	△	—	△	△
小売業	△	△	△	△	×	△	—	△	×
サービス業	○	—	△	△	△	△	—	△	△
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
運輸業	×	—	△	△	×	△	—	△	×
その他	△	—	○	△	△	△	—	△	△

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-75.0	0.0	0.0	0.0	-50.0	-25.0	-50.0	0.0	-50.0
繊維・同製品	-75.0	0.0	-25.0	0.0	-50.0	-25.0	-50.0	0.0	-25.0
木材・木製品	-25.0	50.0	-25.0	0.0	-25.0	25.0	0.0	-25.0	-25.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	25.0	-25.0	50.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	25.0
鉄鋼・金属	-50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一般機器	0.0	0.0	0.0	0.0	-50.0	-25.0	-50.0	0.0	-50.0
製造業	-32.0	8.0	0.0	0.0	-24.0	-8.0	-16.0	-4.0	-20.0
卸売業	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0		0.0	0.0
小売業	-14.3	-14.3	14.3	-28.6	-42.9	-28.6		0.0	-42.9
サービス業	66.7		0.0	0.0	16.7	16.7		33.3	16.7
建設業	20.0		0.0	0.0	0.0	0.0		20.0	-20.0
運輸業	-50.0		0.0	0.0	-50.0	-25.0		0.0	-50.0
その他	0.0		50.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	7.4	-10.0	7.4	-3.7	-14.8	-7.4		11.1	-18.5
全体	-11.5	2.9	3.8	-1.9	-19.2	-7.7	-16.0	3.8	-19.2

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	前月比
売上高	-17.3	-17.3	-15.4	-21.2	-15.4	-3.8	5.8	-9.8	-2.0	-1.9	-9.6	0.0	-11.5	-11.5
在庫数量	-22.9	-22.9	-31.4	-28.6	-14.3	-22.9	-14.3	-23.5	-23.5	0.0	-8.6	-14.3	2.9	17.1
販売価格	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	0.0	3.8	3.9	5.9	1.9	5.8	3.8	3.8	0.0
取引条件	-5.8	-7.7	-9.6	-1.9	-5.8	-3.8	-1.9	-2.0	-3.9	0.0	-1.9	0.0	-1.9	-1.9
収益状況	-25.0	-9.6	-23.1	-15.4	-13.5	-23.1	-9.6	-11.8	-5.9	-3.8	-5.8	-9.6	-19.2	-9.6
資金繰り	-9.6	-5.8	-7.7	-9.6	-5.8	-5.8	-3.8	-5.9	-5.9	1.9	0.0	-3.8	-7.7	-3.8
設備操業度	-28.0	-16.0	-16.0	-8.0	-4.0	-8.0	-8.0	0.0	12.5	-4.0	8.0	-4.0	-16.0	-12.0
雇用人員	-1.9	0.0	0.0	0.0	-5.8	-3.8	-3.8	-5.9	2.0	-3.8	1.9	-1.9	3.8	5.8
業界の景況	-38.5	-32.7	-30.8	-28.8	-23.1	-25.0	-21.2	-21.6	-15.7	-7.7	-9.6	-7.7	-19.2	-11.5

図表3～【指標別DI値の推移】

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-75.0	50.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0
繊維・同製品	-100.0	-25.0	0.0	0.0	-50.0	-25.0	-25.0	25.0	0.0
木材・木製品	-25.0	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0
鉄鋼・金属	-25.0	0.0	-25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0
一般機器	25.0	25.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0	-50.0	0.0	-25.0
製造業	-32.0	24.0	-4.0	0.0	-12.0	0.0	-12.0	4.0	-8.0
卸売業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
小売業	14.3	0.0	14.3	-14.3	-28.6	-14.3		0.0	-14.3
サービス業	50.0		0.0	0.0	33.3	0.0		16.7	0.0
建設業	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		20.0	-20.0
運輸業	-50.0		0.0	0.0	-50.0	-25.0		0.0	-50.0
その他	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	7.4	0.0	3.7	-3.7	-7.4	-7.4		7.4	-14.8
全体	-11.5	17.1	0.0	-1.9	-9.6	-3.8	-12.0	5.8	-11.5

特記事項

情報連絡員報告（平成29年7月分）

所属組合	特記事項
和洋菓子製造業	当業界は、夏場の猛暑の時期が厳しく、今年も真夏日が続いているため苦戦している。
外衣・シャツ製造業	アパレル業の販路形態が大きく変化しており、百貨店や総合アパレルメーカーの売上が低下し売買アプリ、レンタル等は急成長している。縫製工場も販路の方向性を見極める必要が出てきていると思う。
網・網・レース・繊維粗製品製造業	百貨店等アパレルの不振は顕著。大量在庫を残し、発注数量も大幅に絞られている様子。そんな中、新シーズンに向けては、本発注につながるかどうか不透明であるが、変わった素材への要望が多いと感じている。
一般製材業	例年7月は盆前の建方工事の希望が多い月の為、仕事量は多くなる。しかし利益率は前年とあまり変わらず、業界が好転しているようには思えない。合板加工機を導入後、受注に対し付加価値は与えている。
建具製造業	天候不順も影響したのか、生産、販売量ともに前年を下回った。
印刷業	ニーズの変化、需要の停滞、過当競争、低価格など厳しい経営環境に変わりはない。更に少子高齢化に伴い、市場のパイが小さくなっていくのは避けられない。他社との違いが価値になっていくと思われる。
石灰製造業	前月同様、6月より若干値上することが出来たので販売価格は上昇した。
砕石製造業	第1四半期の出荷量(4月～6月)は、昨年同期比で11.7%増加しており堅調である。
金属製品製造業	<ul style="list-style-type: none"> 自動車部品関連…スバル関係の受注が好調である。 機械設備関連…半導体設備等の受注が活発であり、人手不足の状態。 プレス金型関連…メーカー1次下請は受注が順調である。2次、3時の下請は厳しく、人手不足等により廃業する企業も出ている。
金属製品製造業	家電の日立関係からの受注が多少減少した。
一般機械器具製造業	毎年7月は、景気上昇を見込んでいるが珍しく本年は良くない。
一般機械器具製造業	本月の報告は前年同月と比較し、全般的に売上高についてはやや増加、その他については不変という報告を受けた。しかし、仕入れ単価のやや上昇という報告もあり、楽観はできない状況である。

化粧品卸売業	宅配会社による値上げ依頼がある。対応が難しい。
各種商品卸売業	<p>・海産物製造卸売…7月初旬に恒例の大売り出しを行った結果、売上高は昨年と比較して微増であった。しかし、原料となる海藻が異常気象の影響により例年になく不作であったため高騰しており、販売価格を値上げしたいのだが中々応じてもらえず苦戦している。原価を割って販売しても経営を苦しくするだけなので、一部の取引先を切らざるを得ない状況である。今後は店頭販売を強化して乗り切りたい。</p> <p>・酒類卸売…7月に入り連日猛暑が続いておりビールの出荷は増えてきているが、対前年同月との比較では厳しい状況にある（改正酒造法の施行（6月1日）に伴う買い控えによる影響も考えられる）。8月の猛暑に期待したい。</p>
食肉小売業	国内・海外の牛肉・豚肉・鶏肉の相場が高い為、粗利5%ダウンしている。夏場の行楽地の客も伸びており、全般的に商品の動きが良い。
各種商品小売業	全体に単調な景気であり、飲食店以外の店舗の景況は悪いと聞いている。月末の大きなイベント(バスケットボールの世界大会 FIBA 3x3 World Tour Utsunomiya Masters)により人出は10ポイント増え、売上げにも寄与した感じがあった。
各種商品小売業	売上、客数ともに前年同様の水準であり、部門別に見ても等しく前年並みであった。前月、近隣アピタ閉店に伴い、多少なり流入に期待していただけに残念な結果であった。8月に入り、夏のクリアランスセール第2弾が実施されるが、お買物券進呈抽選会を中心に総力を挙げて盛り上げていきたい。
花・植木小売業	この時期は花の傷みが早い為、店頭での動きは鈍い。結婚式はオフシーズン、大きなイベントもなく売上は上がらない。市場の状況を見ると、局地的な大雨に見舞われるなど不安定な天候により入荷量は前年比で5%ほど減少した。相場は10~12%程の単価安で推移したが、8月盆が近づくとつれて単価高での市場推移が予想されるので産地情報を早めに収集して仕入計画を考えたい。
理容業	暑さの影響で来客数は前月より増加している。
自動車整備業	人員増により更なる売上増が望まれる。
ビルメンテナンス業	倉庫内作業員請負等、引き続き受注高が増加しており、人手不足もあり収益が向上している。
給食センター	新規の得意先等の弁当食数増があった為、売上高は前年同月比で増加となった。新調理法で製造のシニア向け弁当の取扱等・コストダウンにより、収益は改善されていくと思われる。
旅館・ホテル	7月の業況は前年度が減少した分、多少増加した。しかしながら、温泉街を歩くお客様は減少のみで、飲食、物産店の入込は少ない。また、8月のお盆の予約状況だが、11日・12日に集中しており、5日の土曜日はじめ後半15日は空きがある。
旅館・ホテル	宿泊の客室稼働率に関してはここ数年のトレンドのまま全体的に上昇している。レストラン・宴会・婚礼など飲食に関する部門では多様化しており、ホテル利用が全てではなくなっている。暑気払いなどが増えてきている。
内装工事業	栃木県室内装飾事業協同組合の防災ラベル支給枚数からみると、前年同月比カーテン用ラベルは18%減、敷物用ラベルは15%増、壁装用ラベルは118%増であった。4月~7月累計では、前年同月比カーテン用ラベル191%増、敷物用ラベル15%増、壁装用ラベル49%増であった。4月~7月のラベル支給(売上)金額は61%増であった。7月の壁装ラベル118%増の要因は、老人ホーム・ホテル(リフォーム)・アパート・病院の壁装工事が増えたためである。

一般貨物自動車運送業	ドライバー不足が深刻な状況下、輸送効率向上など多様化する問題に業界全体で取り組む必要がある。
貨物軽自動車運送業	夏季に入りエアコン等の家電関連は好転しているものの、昨年同期と比べると一般的に受注量は減少傾向にあり、景気回復の実感は得られていない状況下にある。なお、募集しても人が集まらず、ドライバー不足は解消していない。
一般乗用旅客自動車運送業	早朝などの予約等に関して対応しきれない状況下、時間帯によってはタクシーが足りていない状態でお客様に対して不便を生じている。しかし、1人1車制の個人タクシーは交替で対応しており、台数に限りがあり難しい現状である。
大谷石採石業	前年同月比較で、ほぼ同じレベルで推移している。貼石が主流となっており、ダイヤ(平面)だけでなく、加工物(割肌、ビシャン等)が増えていて、大谷石の良さを引き出す使い方が増えている。積石関係は、4月の値上により、ブロックの需要をとられ減少しているが、貼石関係は大きな物件の話もいくつかある。
砂利採取業	7月に県西地区で1社新規の加入があった。